

高田委員（民主県政会）

令和2年3月10日  
教育長答弁実録  
（教育委員会）

（問）「ひろしま産業について正しく理解させる」取組について

ひろしま独自の総合的な学習の時間で行う平和学習に加え、「モノづくりの社会課題の取組とプログラミング教育」を加えることで、幼少期から「ひろしま産業について正しく理解させ、ひろしま愛を醸成する」ことが重要と思うが、このような取組の可能性について、教育長の所見を伺う。

（答）

ひろしま自動車産学官連携推進会議が実施した小学校5・6年生対象のプログラミング体験学習は、広島地域の産業の理解と関心を高める上で効果的であり、参加した児童からも大変好評であったと聞いております。

県教育委員会におきましても、こうした取組を県内に普及させるため、同推進会議に御協力いただき、本年2月、小学校教員約80名を対象にプログラミング体験学習として「ぶつからないクルマ」の演習を行ったところでございます。

この演習に参加した教員からも「プログラミングが現実にあるものの動きに反映されると感動が大きい」などの感想が寄せられており、引き続き、総合的な学習の時間をはじめとした学校教育の様々な場面で、広島のものづくりと関連付けた取組が行われるよう、働きかけてまいります。